

試水内

かゆら

片反

No. 2

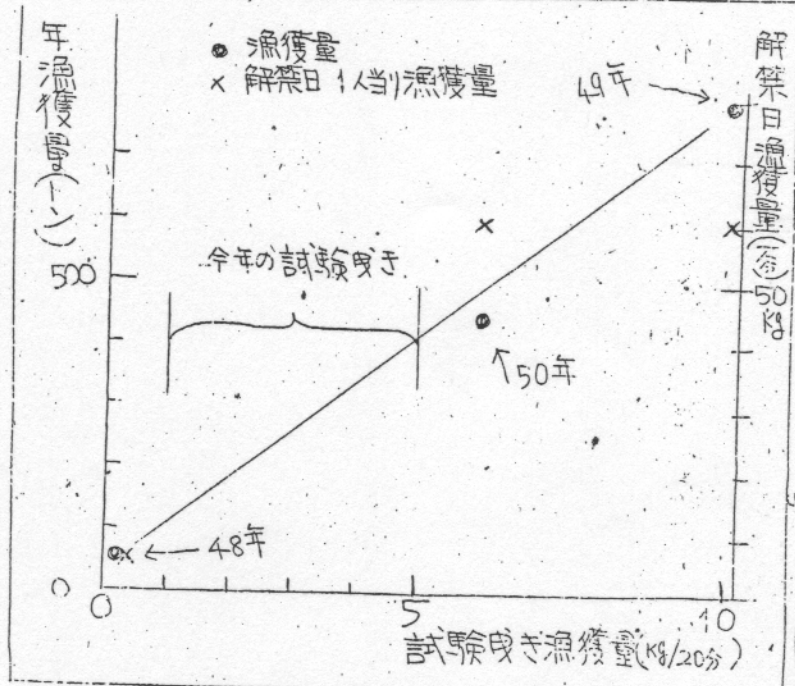
1976.7.12

ワカサギ試験曳き 2

昔はワカサギが1m²当り四五匹もいました。その頃はワカサギに比較するとハゼ類・フナ・コイ・エビは少なく、ワカサギの資源を推定することは、^今そう困難なことはよく、^今現在ではワカサギは何匹いるなどと計算したものです。しかし、今はワカサギよりも他の魚が多く、その年の漁獲量を予想することは至難の技となっているようです。しかし、「今年のワカサギはどうだろう」という興味は今も昔も変わりないようです。そんなわけですから、試験曳きの

結果とグラフに今年の漁獲に結びつけることは危険点もありませんが、……。

試験曳きを始めて今年で四回目、したがって横軸に試験曳きの漁獲量、縦軸に年間総漁獲量と解禁日の一々当りの漁獲量をとりますと、わづか二匹ではあります。直線が得られます。オの回の試験曳きでは一〜二匹/20分 多いところでは20分当り5匹でした。これらの数値を下のグラフに記入しますと、今年は一匹/20分となりませんが、どうも結果になりますか。あつ一回の試験曳きと解禁日の様子を見中りたいと思えます。北浦では30匹/20分で多いようです。



北浦では三知〜江川の間に25〜35℃でした。今年は氷害の上昇が、おさく、未だアオコが発生は著しくはないのですが、つゆの中休みで無風で照り込むとすぐに低層の酸素が無くなります。この点は、今年も過去三年と同じですから、くれぐれも御注意下さい。

	不原	ミヨ	自決
PH	7.9	7.9	8.0
DO	3.4	2.5	2.3
ORP	42	87	7.1
全N	2.0	1.1	1.5

プランクトン
魚王動物多し
6月1〜2日

6月7日以来はじめて酸素量が低下しました。三又沖で下尺が3.0、手賀橋川や田伏でも2.0〜3.0と全域にわたっての低下が目立ちました。

水質

7月9日

